

# スタートアップフレンドリースコアリングへのご協力をお願い



南場 智子

なんば ともこ  
副会長/スタートアップ  
委員長  
ディー・エヌ・エー会長



高橋 誠

たかはし まこと  
スタートアップ委員長  
KDDI社長



出雲 充

いずも みつる  
審議会副議長  
スタートアップ委員長  
ユーグレナ社長

## スタートアップ躍進に向けた 5年間でスタート

5年後までに、スタートアップを量・質ともに10倍にする——その思いから、経団連は2022年3月、提言「スタートアップ躍進ビジョン

——10X10Xを目指して」(以下、ビジョン)を公表した。ここでは、目標達成に必要な経済や社会の在り方の抜本的な変化を示したうえで、具体的な戦略と39項目のアクションを提言している。

ビジョン公表から8カ月後、政府は「スタートアップ育成5か年計画」を取りまとめた。この中で、「スタートアップへの投資額を5年後の2027年度に10倍を超える規模(10兆円規模)とする」「スタートアップを10万社創出する」との目標が明記されるとともに(図表1)、49の施策のうち8割がビジョンで提案された内容となっている。官民はこの重要な目標実現に向けて、足並みを揃えたと言える。一番の肝は、本当にこの目標を達成できるかどうかである。スタートアップは社会課題の解決やイノベーション創出の重要な担い手であるとともに、日本経済全体を浮揚させ、再度競争力を取り戻すための切り札である。ビジョンと5か年計画の実現に向けて、我々は5年間、目標を見失うことなく走り切らなければならぬ。そのためにも、経団連では毎年、達成状況をモニタリングし、公表していきたいと考えている。

## スタートアップエコシステム における大企業

もう1つ、経団連として重要な取り組みがある。大企業の行動変容である。

大企業はスタートアップエコシステムの重要な一角を占める。エコシステムを成長させるには、大企業が非連続的なイノベーション

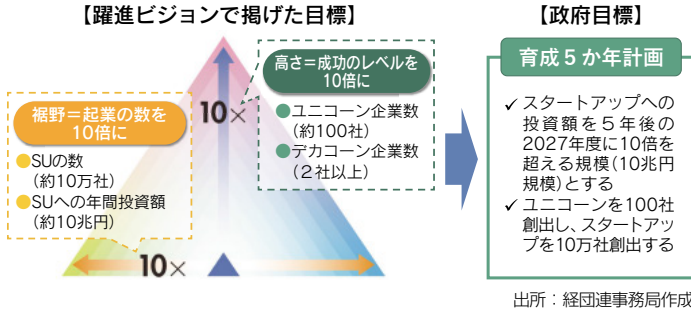
により成長を志向するとともに、スタートアップを社会全体で大きく伸ばすことに貢献し、その活力を取り込んで共に成長していく姿勢を持つことが求められる。ビジョンでも、「自らのマインドセットや組織のあり方、行動原理を抜本的に改め、本気で生まれ変わる覚悟が求められる」(施策No.37)とした。

とはいえ、それでは具体的に何が 필요한のか、スタートアップエコシステムに貢献するとはどのようなことか、模索している企業も少なくない。そこで2023年1月に経団連がリリースしたのが、「スタートアップフレンドリースコアリング」である。

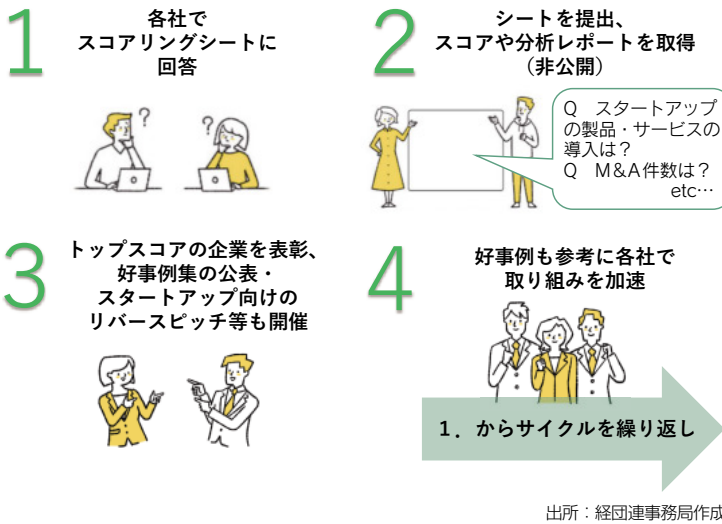
## 大企業のスタートアップ フレンドリー度を「見える化」する

スタートアップフレンドリースコアリングは、その名の通り、自社がスタートアップにどれだけフレンドリーか、或いはスタートアップエコシステムにおいて重要な役割を果たしているか、その度合いを見える化する仕組みである。各社は経団連会員専用システム(KISME)に掲載されているスコアリングシートに回答することで、非公開で自社のスコアや分析レポートを受けとることができる。経団連では、トップスコアの企業を表彰する表彰式を開催したり、先進的な取り組みを事例集の公表などを通じて他の企業に共有し、企業の行動変容を後押ししていく(図表2)。スコアリングのロジックについては、21世紀政策研究所において、入山章栄早稲田大学大学院経営管理研究科教授、斎藤祐馬デロイ

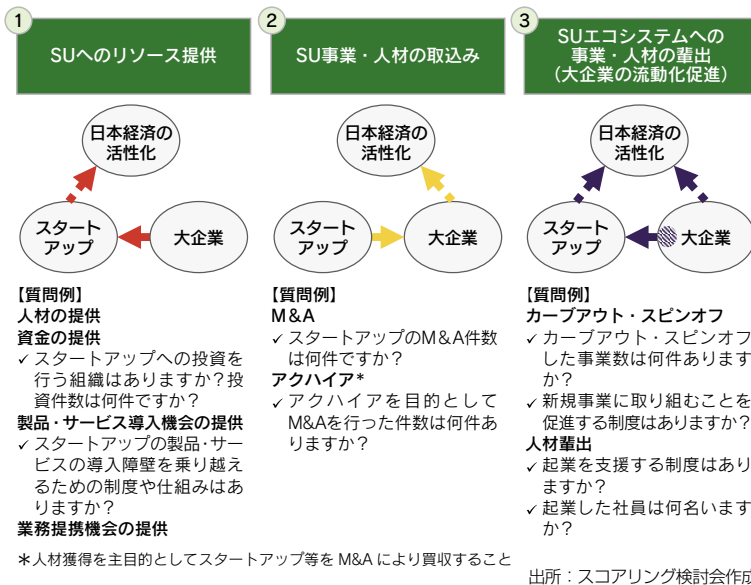
図表1 躍進ビジョンと5か年計画の目標



図表2 スタートアップフレンドリースコアリングのサイクル



図表3 スコアリングの考え方と質問例



トローマツベンチャーサポート(DTVS)社長のもと、「スタートアップフレンドリースコアリング検討会」を立ち上げて取りまとめた。評価軸は「スタートアップへのリソース提供」「スタートアップ事業・人材の取込み」「スタートアップエコシステムへの事業・人材の輩出」の3つとして、質問は計30問程度となっている(図表3)。例えば、「スタートアップの製品・サービスの導入障壁を乗り越える仕組みはありますか?」「スタートアップの

M&A件数は何件ですか?」「起業を支援する制度はありますか?」等の質問があり、スタートアップと本気で向き合って実績を出している企業がより評価される仕組みとなっている。スコアリングの策定に尽力いただいた入山教授、DTVSはじめ検討会のメンバーには、この場を借りてお礼申し上げます。まずは2023年2月24日に初年度の締切を設定しているので、ぜひ各社で挑戦いただきたい。今後、3年、できれば5年と継続し

て、スタートアップフレンドリーな大企業をどんどん増やし、スタートアップエコシステムの成長につなげていきたい。これは経団連にとって新たな試みであり、会員の皆さんと一緒に創り上げていくべきものだと考えている。スコアリングの改善点についても忌憚らないご意見を寄せていただきたい。皆さまのご回答を踏まえ、春をめどに表彰式を準備する。表彰式で多くの企業の方々にお会いできればこのうえない幸いです。